

第53号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生资源事業協同組合連合会
 〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
 TEL 03(3263)9101
 発行人 上岡克己
 編集人 森岡伸志
 印刷 株式会社資源新報社

〓ご挨拶〓

東北の復旧・復興願ひ

会長 上岡 克己



新年おめでとうございます。昨年中はひとかたならぬご協力をいただきましてありがとうございます。

今年も是非、日資連の為に御協力をお願い申し上げます。なんと申しましても、会員ひとりひとりが日資連に関心をもち、御協力頂ければ、持続可能なリサイクルシステム構築は達成できません。我々回収業界も非常に厳しい状況にありますが、皆様と一致団結し、力を合わせ、情報を共有し、社会に貢献のできる組合を目指し、積極的に取り組んで参りたいと考えております。

昨年の3月11日史上空前の東日本大震災では、多くの仲間も壊滅的な打撃を受け、真剣に立ち上がるべく、血がにじむような努力を続け、戦って

引き続き支援をさせて頂きたく考えております。その東北地区で7月20

日に第40回の全国大会が開催される予定になっております。大変大きな痛手を受けながら全国大会の開催に對し、心から敬意と感謝を申し上げます。東北の会員の皆様のねばり強さにただただ感心するばかりです。

少しでも皆様の企業、商売がより良い方向に進めるよう、私も驚馬に鞭を打ち全力を尽くして職務に精励する覚悟です。よろしくご指導ご支援を賜りますようお願い致します。

たつては使用済製品の回収量の確保や国内資源循環の促進、経済的なりサイクル技術の開発といった様々な課題が山積してあります。レアメタル等を多く含む主要製品全般を横断的に対象としてこれらの課題について検討を重ね、夏頃を目途にレアメタル等リサイクルの対応策のとりまとめをします。

第二に、アジア諸国の循環型社会構築に貢献するため、我が国が強みを持つリサイクル技術の海外展開を支援してまいります。

近年、高い経済成長を続けているアジア各国において、今後経済発展に

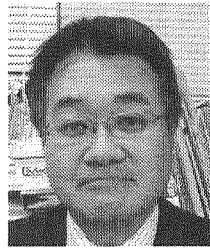
に伴い使用済製品の処理問題に直面することから、我が国で蓄積してきた高度なりサイクルやノウハウに對するニーズが高まることが予想されます。これを我が国企業のビジネスチャンスと捉え、EPAの関係を築きつつアジア域内で持続可能な循環型経済社会圏を構築することを旨とし、各国との政策対話やエコタウン協力、リサイクル企業の進出やシステムの輸出を支援してまいります。

第三に、一般廃棄物の減量及び資源の有効利用の確保を図るため、容器包装リサイクル法の適切な執行・運営に引き続き取り組んでまいります。

本年も、循環型社会の構築に向けさらに努力を重ねてまいりますので皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。御多幸を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。

循環型社会構築に向け

経済産業省産業技術環境局 渡邊 厚夫



平成24年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素より循環型経済社会の構築を目指す各種政策に深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の3月11日に発生

した東日本大震災により生じた膨大な量の災害廃棄物は、バイオマス発電の燃料やセメントの原料への再資源化が積極的に行われるなど、廃棄物のリサイクルについて世間の注目がより一層高まる契機となりました。

このような情勢下、我が国が抱えている環境規制、資源制約等を克服するべく、経済産業省では以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

まず第一に、レアメタル等の貴重な資源の回収率の向上を図るべく、レアメタルに係る取組を更に推進してまいります。

レアメタルは次世代自動車やIT製品等の製造に不可欠な素材であり、我が国の産業競争力の要です。これらのレアメタル等を多く含む使用済製品の排出量は今後増加することが見込まれており、現段階から対応策を講じ

力頂いております事を感謝申し上げます。ようやく環境ビジネスが軌道に乗ってきたかと思う、それをあざ笑うかのよう

に悪徳業者が出没し、多くの努力が潰されようとしております。紙リサイクルは地域社会との連携の中で生まれたものであり、行政はそれを守るための法整備が必要であると感じます。私も引続き運動を高め、正常なりサイクル事業の推進のため努力して参ります。

今後ともご指導よろしくお願い致します。

停止するに至りました。また、会員の古紙ヤードも多くが被災し復興に多くの時間を費やしました。幸いにも昨年中には、製紙工場、古紙ヤードもほぼ復興をはたし、再建に向かつて力強く一歩を踏み出していることに胸をなでおろしております。

震災当初は、放射能の影響により古紙輸出が停滞しましたが、2カ月後にはほぼ回復しました。

昨年の古紙回収量と、国内古紙消費量も共に昨年比1.5%の減少にとどまったものと思われ、一方、古紙輸出量は3.5%ほど増加したと思われ、その分需給はタイトに推移しました。

但し、10月以降は国内の段ボール古紙価格が上昇したのに対し、国際マーケット価格は急落し、輸出量は11月以降減少したものと見られます。

年初の国内需給は、輸出の減退と段ボール古紙の消費減少から、余剰が予想され古紙業界にとっては厳しい状況を迎えるものと思われ、この時を捉え仕入価格の正常化に向けて、協調体制を取ってほしいと思っております。ピークから較べ回収量が150万トン減少して各ヤードの取り扱量が減少している中、仕入競争は排除していかなくてはならないと思っております。

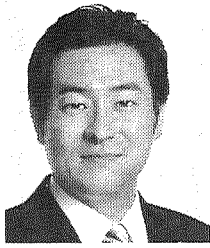
ジャパンブランドの試用も順調に推移しており4月からはいよいよ関東地区から正式にスタート出来るのではないかと思っております。品質向上に大いに役立ち、利用率の向上と国際的な競争力が、さらに向上するものと期待しております。

また、将来に予想される古紙余剰時の対応策についても、昨秋に経産省によって新たに紙リサイクルシステムの強化に関する調査委員会が設置され検討が開始されました。全原連として真剣に取り組んでまいります。

本年も皆様方と共に古紙リサイクル業界の発展とリサイクルシステムの持続的安定化に向けて、頑張っていくと思っております。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

正常な古紙循環を守り

日資連特別顧問 秋元 司



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。旧年は東日本大震災により、大きな悲しみと今後の課題を我々に突き付けました。特に原発にお

いては想定できた事に対しては備える事が出来ず、人的なミスといっても過言ではないだけに、エネルギー問題そのものを大きく見直さざるを得ない状況となつてしまいました。いづれにしても、この教訓を生かした一刻も早い日常を取り戻すため復興・復興に向けて、国がゴミ行政の壁を取り払いオールジャパンで努めて

は、世界のマネーの供給国は事実上日本であり、国内では実感はありませんが世界からは頼られていた事象であります。

しかし、日本国内を見れば円高、不況、財政再建、人口減少と、問題は山積みであり、強い政治のリーダーシップ無しでは解決しません。本年は今まで以上に物事を決断し、世界の潮流に押し流されたいよう力強い政治が求められると思っております。

3Rの精神で資源循環型社会の形成に向けて、ご

新年明けましておめでとうございます。昨年は千年に一度という大地震に関東・東北地区が襲われ、津波により尊い多くの人命が失われ、さらには原発の事故により放射能が広く各地に放出され未曾有の災害を受けました。

亡くなられた多くの方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

東北地区にある多くの製紙工場も被害を受け、長期間にわたって総業を

停止するに至りました。また、会員の古紙ヤードも多くが被災し復興に多くの時間を費やしました。幸いにも昨年中には、製紙工場、古紙ヤードもほぼ復興をはたし、再建に向かつて力強く一歩を踏み出していることに胸をなでおろしております。

震災当初は、放射能の影響により古紙輸出が停滞しましたが、2カ月後にはほぼ回復しました。

昨年の古紙回収量と、国内古紙消費量も共に昨年比1.5%の減少にとどまったものと思われ、一方、古紙輸出量は3.5%ほど増加したと思われ、その分需給はタイトに推移しました。

但し、10月以降は国内の段ボール古紙価格が上昇したのに対し、国際マーケット価格は急落し、輸出量は11月以降減少したものと見られます。

年初の国内需給は、輸出の減退と段ボール古紙の消費減少から、余剰が予想され古紙業界にとっては厳しい状況を迎えるものと思われ、この時を捉え仕入価格の正常化に向けて、協調体制を取ってほしいと思っております。ピークから較べ回収量が150万トン減少して各ヤードの取り扱量が減少している中、仕入競争は排除していかなくてはならないと思っております。

ジャパンブランドの試用も順調に推移しており4月からはいよいよ関東地区から正式にスタート出来るのではないかと思っております。品質向上に大いに役立ち、利用率の向上と国際的な競争力が、さらに向上するものと期待しております。

また、将来に予想される古紙余剰時の対応策についても、昨秋に経産省によって新たに紙リサイクルシステムの強化に関する調査委員会が設置され検討が開始されました。全原連として真剣に取り組んでまいります。

本年も皆様方と共に古紙リサイクル業界の発展とリサイクルシステムの持続的安定化に向けて、頑張っていくと思っております。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

組合の「絆」で経済活性化へ

全国中小企業団体中央会会長 鶴田 欣也



平成24年の新春を迎え、お慶びを申し上げます。昨年は、3月11日に発生した東日本大震災により未曾有の大被害が発生し、その震災の影響に加えて長引く円高、欧州における不安定な金融情勢、電

力供給の制約等懸念材料を数多く抱えて年を越すことになりました。全国中央会としては、昨年、創立55周年を迎える節目の年でありました。東日本大震災の被害は極めて甚大でしたが、被災地に対する全国各地の組合からの救助・救援、たくさんの方の義援金、救済物資の提供を行って頂き、そのお陰で絆が大いに再認識された年ともなりま

した。また、仮設店舗から事業再開を果たした組合、水産加工業者による加工・物流施設の共同設置によって事業再建を図った組合、複数の企業がグループ化して自動車部品のサプライチェーンの復旧を行った工業団地の自動車部品供給グループなど組合等連携組織による復旧・復興に向けた取り組みが始まりました。この絆をより強固にす

業界の拡大・発展に努力

(社)日本鉄リサイクル工業会 会長 中辻 恒文



新春を迎えるにあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年度は東日本大震災で被災された方々や被災地域におけるリサイクル業界の復旧支援を迅速且つ効果的に実施する事が鉄リサイクル工業会としての最重要事項でありました。

この最重要事項への取り組みに関し、工業会会員だけではなく、関連諸団体、一般市民の皆様にも積極的なご支援とご協力を賜りました事を厚く御礼申し上げます。被災地の中でも特に福島県内には本日現在でも避難地域を含め放射線レベルが高い地区が多数あり、事業の復旧が困難なだけでなく、一般市民の多くの方が生活不安を抱えておられます。このような事態に対して工業会としての継続的支援を今年も重要事項として取り組んでいきます。

避難地域を除いては、鉄リサイクル企業の多くは震災直後から事業の再開と復旧活動に努力した結果、昨年度後半にはリサイクル業務が震災前レベル近くまで復旧しています。この事は震災後復興に向けて一歩大切な「地域の雇用と働く人々の経済的自立を確保するもの」であり、リサイクル業界としての社会的・経済的存在意義を改めて感じた次第です。

大震災後も天災による被害、更にはヨーロッパに端を発する世界的経済変動などにより、鉄だけでなく再生資源業界にとって昨年は大変厳しい一年でありました。しかしながら、日本は過去に何度も大きな震災を経験し、その度に見事に復興してきた歴史があります。統計的には震災・

中央会では、第三次補正予算における新たな事業に取り組み、中小企業の海外展開の支援、ものづくり技術力の維持・強化人材の確保・育成の支援等に新たな取組を開始します。これにより、被災地等の地場産業・ものづくりの活性化、中小企業の連携体を取り組む試作品の開発等、ジャパン・ブランドを活用した複数の中小企業による国内外への販路開拓、有能な人材の確保定着を推進していきます。

二つ目は、広域・異分野の組合間連携等の推進です。連携による新しい技術、製品、マーケットを開拓し、被災地を支援してまいります。まず、全国

きましては、鉄を基軸としたリサイクル業務の範囲拡大や、海外取引における「単一商品・一方通行」の限定的輸出から「リサイクル可能な商品全般の輸出、輸入双方」への取組みなどがリサイクル業界全体の規模拡大へと発展的に結び付くと考えています。今後益々「省エネ技術」を基盤とした産業の育成と資源のリサイクルに対する社会的必要性が高まることと

思います。鉄リサイクル工業会は本年も更にリサイクル処理技術の改善に取り組み、事業のマネージメントシステムの効率化を推進し、国内及びアジアの経済成長とともに歩んで行く所存であります。皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災・福島原発事故から約1年がたとうとしています。厳しい寒さのなか、3・11の被災地ではいっこうに復興が進まないのに、原発再稼働への動きばかりが目につく今の日本は、いったい、どうなっているのでしょうか？

福島原発事故以前から、今の人間たちの快適さのために核廃棄物を刻々生み出し、そのツケを将来世代に平気で負わせる原動力発電に私は反対です。危機管理の面から考えても、活断層だらけの日本に原発を置くこと自体がおかしい。でも、その前に、便所の処理ができないのにマンションを建てて快適に住み、垂れ

市民と業界の連携を

古紙ネット代表 中村 正子



東日本大震災・福島原発事故から約1年がたとうとしています。厳しい寒さのなか、3・11の被災地ではいっこうに復興が進まないのに、原発再稼働への動きばかりが目につく今の日本は、いったい、どうなっているのでしょうか？

流し続けたその始末は子孫にやらせるという考え方・価値観が理解できません。今も外で自由に遊べない福島の子供もたくさんいます。このような社会や状況をうみだしたおとなの一員として、子どもたちに申し訳ない思いがつのります。

一方、ヨーロッパ連合の危機や円高など世界的な動きをどう読み解くのか、その行方や解決策を新聞などを手がかりに考えようとしても複雑で、さっぱり、わかりません。古紙ネットにしては日本国内での循環内で考えられたの

に、現在では国際的に考えねばならず、市民運動の理解の範疇を超えています。東日本大震災や福島原発事故、世界的な経済不況や例えば古紙問題にしても、考える時に必要なのは、できるだけ正確な

情報です。福島は被災地から避難する時、情報が届かないばかりに、更なる放射能汚染を招いてしまったという悲劇は、他人事ではありません。再生資源業界も平常から、今、何がどうなっているのかという現場からの情報を、循環の輪をつなぐメンバーにできるだけ発信してください。危機に陥った時だけの発信ではなく、そうした丁寧な情報交換の積み重ねがお互いの信頼感をうみ、いざという時にも助けになるのではないのでしょうか。

さて、昨2011年3月末に「古紙問題市民行動ネットワーク」は「古紙ネット」に変わりました。それまでの会費を定期的に会費を送る会員制度から、個人がメールやリストで情報を交換する仕組みに変わったのです。

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

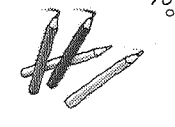
循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(http://www.danrikyo.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101



ここでも、情報が命です。古紙を分けて回収に協力するしか現場を持たない市民・消費者にとり、回収業界や問屋業界製紙業界が今、どうなっているのかという動きを恒常的に知ることは、今後の古紙循環を考える上で必要不可欠ですが、その情報を自分たちで把握することは不可能です。古紙ネットを生かし、これまでの市民・消費者との連携を継続していか

●第40回通常総会
5月12日(土)午後2時より、日資連事務所において第40回通常総会を開催します。

●第40回全国大会 東北大会
7月20日(金)午後1時より、ホテルメトロポリタン仙台にて第40回全国大会 東北大会を開催します。

組合員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席下さい。また改めてご案内をお送りさせていただきます。

国際古紙循環の課題とは

日中の業界代表が研修会開催

日本製紙連合会は海外技術研究者研修協会東京センターにおいて、中国より13名の製紙・古紙関係者を招き、昨年12月に五日間に渡り研修会を開いた。

研修会では、多くの日本製紙・古紙関係者による講習会が開かれた。日資連からも片岡繁S K委員長が「回収業者の歴史と現状」をテーマに講師を務めた。

また、最終日には上岡会長と片岡S K委員長が出席した意見交換会も開かれた。



連合会のまとめた意見交換会の概要は以下の通り。

- ①中国の古紙回収の問題点
 - ・中国側発言
 - ・中国側は本年9月に開催された国務院常務委員会、効果的な再生資源の回収システム整備の重要性について言及するなど、再生資源の利用を重視している。
 - ・過去の計画経済下において、中国の古紙回収システムは上手く機能していたが、高度経済成長及び市場経済への移行に伴う紙・板紙生産の急拡大によって、地域によっては回収システムの機能が充分発揮されていない。
 - ・政府は企業や業界団体では解決できない問題については、法制度の制定などを通じて解決する役割を担うが、古紙回収において現在それを十分に果たしていない。
 - ・中国では地域間での大きな経済格差があるのと同時に、古紙回収の面においても地域間で大きな格差がある。
 - ・例えは、中国において経済が発展している地域の一つである江蘇省では、省政府主導によって、2500世帯に1箇所の割合で古紙回収センターが設置されており、古紙回収が整備されている。しかし、同省で成功している回収システムが他の地域において上手く機能するとは限らない。
 - ・今後の中国の古紙回収向上において、地方政府の関与を高める必要がある。また、古紙利用の向上においては、家庭・中小事業所における古紙の分別排出の徹底が非常に重要。そのためには、住民の意識向上が鍵となる。
 - ・リサイクルシステムの確立においては、幼児からの教育が重要と考えている。日本の製紙メーカーは、小学生や中学生の工場見学受け入れを通じて、子供の時から省資源の重要性について認識してもらうように取り組んでいる。
- ②日本の古紙回収の問題点
 - ・中国より日本の現在の回収システムの問題点があるか？ 今後現在の回収システムが安定的に続いていくのか？ との質問に対する日本側発言
 - ・今後、自治体レベルでの官民の連携を如何に保っていくかというところが古紙の質・量・価格を安定させるための課題となっている。また、長期的に見た場合は、紙の加工・利用のレベルにおいて如何にしてリサイクル対応型の製品に転換していくかが問題となる。そのため、紙製品を再生利用しやすいようにすることへの社会のコンセンサス形成が必要。
 - ・日本では国内の回収量と利用量のギャップが輸出によって調整されているため、輸出先の確保や製紙原料以外の用途開発が課題となる。
 - ・日本ではボランティア団体などによる経済的メリットに左右されない古紙リサイクルへの取り組みが確立されていることから、短期的に古紙価格が回収コストを下回る状況になっても古紙回収システムが崩壊することはない。
 - ③その他
 - ・中国側より、中国の統計データは正確性に欠けており、統計にカウントされていない古紙の数量が大きいことから、実際の古紙回収率は統計上の数値よりも高いとの発言があった。例えば製品輸出の梱包材等として流出する紙・板紙を考慮すると、中国の古紙回収率は60%台になると推定される。
 - ・「研修会の成果と今後の対応について」
 - ・日本では、長年に亘り製紙業界・古紙回収業界・行政が連携し、住民が参加する回収システムを構築してきたことについて、中国側の理解を得ることができた。しかし、中国では古紙回収が民間に依存され、住民への雇用機会の創出にも寄与していること、地域による発展の格差や多民族の問題、そして他の再生資源回収品目と比べ古紙の重要度がまだ高くないことから、中央及び地方行政による古紙回収への積極的な関与にはまだ時間が必要と思われる。最後に、今回にて中国から参加者を招聘する研修方式は終了となるが、古紙回収に関する協力と理解を深めるため今後も政府関係部門を含めた対話を中国造紙協会と継続していくことと合意した。
 - ・なお来年度の研修会については、発展を見合う古紙の確保に問題を抱えている東南アジアの諸国を対象とした研修会の開催について検討を開始したいと考えている。

財政健全化等を協議

1月度の定例理事会を開催

1月21日(土)、本部会議室で1月度の理事会が開催された。以下概要。

1. 財政立て直しの件
 - ・財政の健全化を達成すべく賦課金は正のお願いを文書を会員に送付する。
 - ・なお、文書送付に際しては、必要経費等の説明資料を添付する。
2. 第40回日資連通常総会準備の件
 - ・日資連第40回通常総会を日資連事務所で5月12日(土) 14時より開会する。
 - ・なお、役員改選に伴う選考委員会が組織され、
3. 第40回日資連全国大会東北大会をホテルメトロポリタン仙台で7月20日(金) 13時より開会する。
 - ・記念講演としてソフトバンク(株)孫正義氏、宮城県知事村井嘉浩氏に依頼中。会費は15000円(宿泊費除く)。
 - ・法人組合設立40周年記念誌の発刊を予定。広告
4. 賛助会員加入申込の件
 - ・連合会への賛助会員加入申込のあった株式会社社十商カマイ(旭川)の日資連賛助会員加入を承認する。
5. 古紙センター「平成23年度埼玉県紙リサイクル意見交換会」の件
 - ・意見交換会に日資連から片岡繁氏、埼資協から2名の参加を予定。
6. 各地区との関係
 - ・日資連再生資源回収事業

計データは正確性に欠けており、統計にカウントされていない古紙の数量が大きいことから、実際の古紙回収率は統計上の数値よりも高いとの発言があった。例えば製品輸出の梱包材等として流出する紙・板紙を考慮すると、中国の古紙回収率は60%台になると推定される。

「研修会の成果と今後の対応について」

日本では、長年に亘り製紙業界・古紙回収業界・行政が連携し、住民が参加する回収システムを構築してきたことについて、中国側の理解を得ることができた。しかし、中国では古紙回収が民間に依存され、住民への雇用機会の創出にも寄与していること、地域による発展の格差や多民族の問題、そして他の再生資源回収品目と比べ古紙の重要度がまだ高くないことから、中央及び地方行政による古紙回収への積極的な関与にはまだ時間が必要と思われる。最後に、今回にて中国から参加者を招聘する研修方式は終了となるが、古紙回収に関する協力と理解を深めるため今後も政府関係部門を含めた対話を中国造紙協会と継続していくことと合意した。

なお来年度の研修会については、発展を見合う古紙の確保に問題を抱えている東南アジアの諸国を対象とした研修会の開催について検討を開始したいと考えている。



最終日に行われた意見交換会のもよう。上岡会長と片岡S K委員長が出席。

- ①古紙持ち去り問題意見交換会(全原連・東リ協会・日資連他)が提案する、車両ステッカー普及活動に協力することを決定。
- 8. 報告事項(対外関係)
 - (1) 衆議院議員甘利明君を囲む会(11月21日横浜ベイシエラトン)
 - (2) 秋元司元参議院議員(日資連特別顧問)と未来を語る会(11月24日)
 - (3) 古紙再生促進センター業務委員会(11月28日古紙センター)
 - (4) 経済産業省紙リサイクルシステム強化に関する調査委員会業界WG(12月5日紙パルプ会館)
 - (5) 高市早苗さんをみんなで激励する会(12月6日東京プリンスホテル)
 - (6) 日本製紙連合会
 - (7) 経済産業省リサイクル推進課 渡邊課長訪問(12月21日経済産業省)
 - (8) 平沼超夫衆議院議員訪問(12月21日水田町)
 - (9) 経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 安藤部長訪問(12月28日経済産業省)
 - (10) 古紙持ち去り問題意見交換会(1月13日全原連)
 - (11) 経済産業省紙リサイクルシステム強化に関する調査委員会自治体WG(1月16日紙パルプ会館)
 - (12) 小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(案)に対する意見募集(パブリックコメント)への意見提出
- ②調査研究委員会
 - (1) 理事を対象とした研修会(講演会)を事務所会議室で3月17日に予定。講師に資源廃棄物関連に詳しい佐藤泉弁護士を招く。参加費3000円。
 - (3) 業務委員会



小型電気電子機器リサイクル制度の在り方(案)に対する意見

【宛先】環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 リサイクル推進室

【氏名】日本再生資源事業協同組合連合会 会長 上岡克己
東京都資源回収事業協同組合 理事長 吉川太郎

【住所】東京都千代田区三崎町2-21-1 東京資源会館5階

【電話番号】以下日資連 03(3263)9101

【FAX番号】 03(3263)9102

【メールアドレス】 recycle@m15.alpha-net.ne.jp

【意見】

私ども日本再生資源事業協同組合連合会は、東京都資源回収事業協同組合員を含む全国の再生資源回収事業者約2500社が加盟する経済産業省認可団体です。

本件の「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(案)」を拝見し、以下の事項について意見を提出いたします。

一 現在、回収事業者は様々な形で資源リサイクルに携わっているにも関わらず、本案の「関係者の役割分担」の対象には「回収事業者」という存在が抜けており、非常に遺憾に存じます。

一 本案の対象物品である小型家電等は廃棄物全体の中では少量であり、その物だけを回収する方法は極めて非効率であります。また、行政や自治体のコスト負担を考えると、既存の回収業者が集団回収等で柔軟に回収できるように施策し、行政や自治体は回収業者から回収された物を受け取り、リサイクル業者(中間処理業者)に引き渡すような形態が最も効率的であると考えます。

一 違法業者の排除は重要な課題ですが、規制による排除は既存の適正業者の適正な活動をも阻害する恐れがあるので、慎重に御配慮いただきたい。

以上、是非とも御勘案頂きたくご提案致します。

日資連青年部のほやき

前号に引き続き、日資連青年部の意見交流会中で日ごろ感じる「日資連について」の意見をとりまとめてみた。

★組合の将来展望や後継者問題といった、今後の課題については皆の総意が必要となるが、温度差があつてひとつにならない。

★組合の事業に対して職域や既得権意識が強く、組織運営の障害となつていゝ。変革の必要性は理解しつつも、こうした既得権意識が「変化」を嫌う傾向がある。新たな意見を汲み上げる柔軟な発想が求められる。

★組合に求めるものは資本の大きいところを競つていくための組織力。きめこまかなシステムや中小企業の良さを活かし、大手企業でできないことを実践できるシステムづくりが必要。

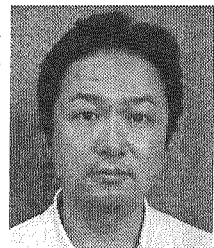
★海外資本の進出が度は問題だと思つた。採算度外視の入札価格が問題だ。最高価格と最低価格を設定するなど、先進的な例もある。

★行政の仕事に参加できる組合は安心だったが、コスト優先に傾く中で、組合員であることのメリットが希薄になりつつあると考える人が増えている。そういった状況変化の中で組合の在り方を考えていくことが重要だが、仕事の特性上、競争入札という選定方法自体に疑問が生じている。

★地域内での結束力が必す。集団回収の仕組みを要する。青年部の方々の話を要約して紹介させて戴きました。若手が感じ、思うことをそのままお伝えできたらと考え企画致しました。

組織体制強化に取り組む

青年部長 武井 大輔



新年あけましておめでとうございます。日頃より日資連青年部活動に對しましてご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年の日資連青年部は、マーケティングを最大限に活用した情報交換を通じ、日常的に部員同士が意見交流を行える環境作りを進進してまいりました。本年もご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

思えば一年前、同じように新年号本欄に向けキーボードの前で悪態を吐いていた。月日の流れとは恐ろしいもので、気が付けば呻吟の日々も、一年後再びこの身に降りかかって初めて思い起こすものらしい。時の経過の早さも恐ろしいが、この忘却の深度と速度は(筆者独白)自分自身に向けられた暴力かも知れない。忘れることが次へ進むためには必要なこともあるだろうが、忘れることが次への備えを疎かにしてしまう恐ろしさを実証した一年だった。去年の新年号が発行されて2ヵ月後、あの大地震害が起こった。忘れはしないが、直後のあの不安

栃木県リサイクル協同組合連合会
 会長 星本 昭次
 〒320-0816 栃木県宇都宮市天神 2-7-18
 TEL 028(634)5930・FAX 028(666)8513

群馬県再生資源事業協同組合連合会
 会長 上岡 克己
 〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3
 TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

埼玉県再生資源事業協同組合
 理事長 細田 益弘
 〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1
 エクセルハイム103
 TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
 会長 熊倉 一夫
 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
 富士ビル5階A号室
 TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

東京都資源回収事業協同組合
 理事長 吉川 太郎
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1
 TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

神奈川県資源回収商業協同組合
 理事長 小松 敏和
 〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17
 モンテバルデ 横浜 3 1 1 号室
 TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合
 理事長 森田 元嗣
 〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2
 経済会館 6 階
 TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

岡山県資源リサイクル事業協同組合連合会
 会長 平林 久一
 〒700-0973 岡山県岡山市下中野 347-104
 ヒラキンビル内
 TEL 086(246)0011・FAX 086(246)1100

新宿区リサイクル事業協同組合
 理事長 佐藤 一郎
 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12
 小池商店本社内
 TEL 03(5363)3196・FAX 03(5336)3197